

踏み跡 <My Mountains>

茨城(雨巻)	高峯と仏頂山	No.269
--------	--------	--------

茨城の山を色々調べまくっているうちに、その名の面白さから「仏頂山(ぶつちょうざん)」が目にとまった。栃木県との県境に位置するこの山は、ガイドブック(山と溪谷社「茨城県の山」)を見ると、天然記念物ヒメハルゼミの自生北限地と書いてある。尾根伝いに繋がっている高峯とあわせて歩いてみることにした。8月末、低山歩きには適さぬ季節のような気もしたが、決行。

平成8年8月26日
曇り空ではあるが、やがて晴れることがわかっているので安心して出発。国道16号線を北上して柏ICから岩間ICまで常磐自動車道。笠間を抜けて国道50号線に入り、稲田駅入り口を右折。



石山と石材加工業の団地を眺めやりながら浅い谷間を進み海拔150m程度の峠を越えると鏡ヶ池。時刻は11時、ここに車を止めて身支度。家を出る時には曇っていたが、晴れて暑くなってきた。地図を見ながら注意深く奈良駄峠への道を探して谷沿いに進むとやがて採石場に突き当たった。採石場の中を進むとエンニオ・モリコーネの音楽が聞こえてくるような気分になる。採石場の一番奥で作業している人に登山路を尋ねて見たら、「採石場の一番奥まで進むと山に入る道がある」と言う。アドバイスに従って進み、11時35分採石場の上部の林に到達。そこは赤松混じりの雑木林で、ことによると秋にはきのこが採れるのではないかと思うような林、それにしても乾燥してガサガサの雑木林だ。稜線に11時45分に到達。5分ほど歩くと奈良駄峠と思しき標識のない峠に着いた。まずは西へ進んで高峯へ。12時25分高峯(520m)に到着。南に吾国山・難台山・加波山・筑波山、北西には雨巻山。ハギとアザミに囲まれて昼食。曇ってきたので涼しくて休憩にはちょうど良い。二等三角点の標識と標石が倒れていたため、ほぼ正規位置と思われる場所に立て直して、12時50分に出発。(下左写真：高峯から北側の眺め 雨巻山と深沢の水田地帯 下右写真：前代未聞の三角点)



稜線を東へ進み仏頂山を目指す。今朝通った採石場下降点に13時20分に到着。仏頂山が近くなるにつれて稜線上は杉がちの林になってきた。仏頂山(431m)13時54分。(右写真：仏頂山頂上で小休止)長い木の階段を下りきると寺があった。14時30分楞厳寺(りょうごんじ)、顔と手を洗って水を一杯ごちそうになり火照った体を冷やしてひと休み。ヒメハルゼミの自生地と言われている所だが、鳴き声を楽しむなら7月上旬が良いらしい。寺を過ぎてしばらくすると里道歩きになった。仏頂山を大きく回り込んで南面の鏡ヶ池まで戻らなければならない。地図と磁石とで慎重に確かめながら歩いていたら、お百姓さんに声をかけられた。「なに調べてんだ？」山群を回り込みながら歩いていると、山が色々な形で姿を見せてくれる。仏頂山から高峯への稜線の深い緑色と、8月末の水田の色づき始めた稲穂の色の組み合わせが素晴らしい。



踏 み 跡 <My Mountains>

鍬柄峠 15 時 36 分、何とも牧歌的な名前の峠ではないか。楞巖寺から左肩に止まったまま同道を楽しんでくれたトンボが、峠の風を受けて何か意味ありげに静かに飛び立った。

鏡ヶ池に 15 時 45 分帰着。近くの売店で水をいただき顔を洗ってシャツを着替えて 16 時に発車。

亀岡・羽黒・フルーツラインと抜けて土浦北 IC から常磐自動車道に入り、18 時半に帰宅した。

以上

<註> 仏頂山・高峯は、雨巻山群と鶏足山地の接点になる場所なので山域の表現が難しい。
この文章の中では（タイトル欄に表記）「雨巻山群」とした。